

APRESIA Systems メディアコンバーター

ApresiaLightMC シリーズ

Ver. 1.00.05

リリースノート

**APRESIA Systems 株式会社**

制定・改訂来歴表

No.	年 月 日	内 容
-	2021年8月31日	新規制定

## はじめに

ApresiaLightMC シリーズ 1.00.05 のファームウェアについて説明するものです。本ファームウェアに関しての重要な情報が記載されていますので必ずお読みください。

### リリースバージョン

今回リリースバージョン	1.00.05
前回リリースバージョン	1.00.04

### 適応機種一覧

シリーズ名称	製品名称
ApresiaLightMC シリーズ	ApresiaLightMC-SX
	ApresiaLightMC-LX
	ApresiaLightMC-BX20D
	ApresiaLightMC-BX20U
	ApresiaLightMC-BX40D
	ApresiaLightMC-BX40U
	ApresiaLightMC-FX
ApresiaLightMC-PoE シリーズ	ApresiaLightMC-SX-PoE
	ApresiaLightMC-LX-PoE
	ApresiaLightMC-BX20U-PoE
	ApresiaLightMC-BX40U-PoE
	ApresiaLightMC-FX-PoE

### ファームウェアバージョンアップ時の注意事項

 バージョンアップ時における注意事項を記載しています。ご使用前に必ずご一読下さい。

- ・本 Ver. 1.00.05 のファームウェアではバージョンアップ後にコンフィグ設定の追加/変更が必要な機能を追加しております。本リリースノートをご確認いただき、十分理解されたのち、バージョンアップを実行ください。
- ・遠隔でバージョンアップ作業を実施された場合、APLMC-10005-RC004 の仕様変更により、装置にアクセスできなくなる恐れがありますので、事前に通信環境をご確認ください。  
MNG ポート経由の IP アドレスはバージョンアップ後も引き継がれますが、USER ポートまたは LH ポート経由の IP アドレスについては引き継がれずに無効となります。

## 対応バージョン一覧表

各製品の対応バージョンを以下に示します。対象となる製品には、対応バージョン以外のファームウェアをダウンロードしないでください。

製品名称	対応バージョン
ApresiaLightMC-SX	ApresiaLightMC Ver. 1.00.03 以降
ApresiaLightMC-LX	
ApresiaLightMC-BX20D	
ApresiaLightMC-BX20U	
ApresiaLightMC-BX40D	
ApresiaLightMC-BX40U	
ApresiaLightMC-FX	
ApresiaLightMC-SX-PoE	
ApresiaLightMC-LX-PoE	
ApresiaLightMC-BX20U-PoE	
ApresiaLightMC-BX40U-PoE	
ApresiaLightMC-FX-PoE	

## 輸出する際のご注意

本製品は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

## 商標一覧

Apresia/APRESIA は、APRESIA Systems 株式会社の登録商標です。

Ethernet 及びイーサネットは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

その他ブランド名は、各所有者の商標もしくは登録商標です。

# APLMC Ver.1.00.05 リリース情報(2021年8月)

## 機能追加・修正について

このバージョンでは、以下の機能を追加・修正しております。

### 仕様変更

#### APLMC-10005-RC001

内容 CLI/Web GUI において、reload cold コマンドや Restart Device ボタンにより装置再起動(リブート)を実施した場合、電源断通知(dying gasp フレーム)を発生しないように変更しました。

関連 -

#### APLMC-10005-RC002

内容 透過フレームにおいて、LACP フレームを CPU 転送(ソフト転送)からハード転送へ変更しました。

関連 -

#### APLMC-10005-RC003

内容 透過フレームにおいて、送信元 MAC アドレス(SA MAC)がマルチキャストアドレスのイーサフレーム(規格外フレーム)も転送するように変更しました。

関連 -

#### APLMC-10005-RC004

内容 IP アクセス管理において、設定可能な IP アドレスを 1 個から 2 個へ変更しました。  
- MNG ポート(アウトバンド管理) : 1 個(VID=1)  
- USER/LH ポート(インバンド管理) : 1 個(VID=2)

関連 インバンド管理(USER ポートまたは LH ポート経由での IP アクセス)をご使用中に、本バージョンへ変更した場合、IP アドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイの設定が削除されますので、再度設定を行ってください。

#### APLMC-10005-RC005

内容 PoE ICMP Ping Auto Checking 機能において、3 回目の強制 PoE 給電断後は PoE 給電しないように変更しました。(固定)  
また、下記のパラメータ範囲を変更しました。

PoE ping interval : 10~120 秒 10~1800 秒 (初期値 : 変更なし(30 秒))

関連 -

## 修正

### APLMC-10005-RC006

内容 EFM-OAM 機能において、LH ポートの対向側 APLMC(POE)の USER ポートリンク状態を示す AIS 情報が正しく表示されない問題を修正しました。

(事象： LH ポートのファイバー抜去 USER ポートが強制リンクダウン USER ポートの TP ケーブル抜去 LH ポートのファイバー再挿入後、対向側 APLMC(POE)において AIS 情報がリンクアップと誤表示)

関連 -

### APLMC-10005-RC007

内容 Apresia12000-48GX-PSR との EFM-OAM 相互接続において、Apresia12000-48GX-PSR の CLI から EFM-OAM 有効コマンド実行時に APLMC の USER ポートがリンク断と誤表示される問題を修正しました。

関連 -

### APLMC-10005-RC008

内容 装置起動時において、ARP フレームが送信される問題を修正しました。

関連 -

### APLMC-10005-RC009

内容 リンクパススルー(LPT)機能において、USER ポートの TP ケーブル抜去 LH ポートのファイバー抜去 USER ポートの TP ケーブル再挿入後、USER ポートがリンクアップのままになる問題を修正しました。

関連 -

ApresiaLightMC シリーズ  
Ver.1.00.05 リリースノート  
Copyright(c) 2021 APRESIA Systems, Ltd.  
2021 年 8 月 初版

APRESIA Systems 株式会社  
東京都中央区築地二丁目 3 番 4 号  
(築地第一長岡ビル 8 階)

<https://www.apresiasystems.co.jp/>